



恵まれた自然環境に感謝して

園長 小島 喜代美

梅雨の晴れ間の日差しに夏を感じる頃となりました。早いもので一学期も最後の月となりました。

5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類となり、幼稚園での教育活動も感染対策をしながら様々な経験の機会を保障することができるようになりました。

6月中旬、5歳児ほし組が育てていたジャガイモを収穫しました。保育室前の畑からは、大きなジャガイモがゴロゴロと出てきて、子どもたちからは大歓声。収穫した後は、いくつあるか数えたり、どのくらいの重さが計ってみたりする姿が見られました。遊びや生活を通して、数量に出会う体験となりました。

その後、担任と子どもたちで「何にして食べようか」と相談をすると、「ポテトサラダがいい」「カレーにしたい」「フライドポテトがいい」「マッシュポテトがいい」「蒸かして食べたい」など、たくさんの意見が出てきました。日頃の食の豊かさを感じます。その中で「カレーに入れて食べよう」ということに決まりました。カレーを作るには、ジャガイモだけではなく、ニンジン、タマネギ、お肉、カレー粉が必要であることも話し合い、八百屋さんから買い物をする体験もしました。

そして、いよいよカレー作りの日、エプロンや三角巾を身に付けやる気満々のほし組の子どもたち。先生方が付きながら、子ども用包丁でニンジンとジャガイモを切る表情は真剣です。少し大人になったような気持ちを味わう子どもたち。出来上がったカレーは、3歳児りす組、4歳児はな組にも分けてあげました。今回は、遊戯室とほし組をつないだ広い部屋で、はな組、ほし組と一緒に会食をしました。互いに顔を合わせて食事をする事で、一段と楽しい雰囲気となりました。「美味しい」「ほし組さん、ありがとう」と、根津幼稚園のみんなからお礼を言われ、誇らしげな表情を見せるほし組の子どもたちでした。その日の午後には、ほし組でカレー屋さんごっこが始まっていました。心に残る体験は、遊びの充実にもつながっています。

この季節には雨が多く、りす組では傘作りを経験しました。のりを使って模様を付け、自分の傘ができると、早速、嬉しそうに廊下を歩いていました。遊びの中でも使う姿が見られました。はな組では、シャボン玉を試す様子が見られました。一人で膨らませるだけではなく、友達と合わせてシャボン玉ができることの楽しさも感じています。遊びの中で考えたり、試したり、工夫したり、子どもたちの興味・関心を大切にしながら、じっくりと時間を保障していくことを大切にしています。これからも、この恵まれた自然環境を生かし、遊びや生活を通じた学びの充実にも努めてまいります。

一学期の幼稚園での教育活動に、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。間もなく夏休みです。ご家庭でも夏ならではの体験ができるようにですね。



友達とジャガイモ掘りをする5歳児



どのくらい重いかな5歳児



真剣な表情で野菜切り5歳児



4・5歳児一緒にカレー会食



自分の傘が嬉しい3歳児



友達と一緒にシャボン玉を試す4歳児



カレー作り体験を遊びに生かす5歳児